

資料3 白岩川水系流域治水プロジェクト  
更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、白岩川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和44年8月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

滑川市

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

上市町



立地適正化計画

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・堤防整備、橋梁架替、河道掘削 等【富山県】
  - ・白岩川ダムにおける事前放流の実施【富山県】
  - ・砂防関係施設の整備【富山県】
  - ・森林整備・治山対策【富山水源林整備事務所・富山県】
  - ・雨水貯留施設の整備（開発行為における調整池など）【開発事業者】 等

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）【富山市】【立山町】 等



仮橋設置、新橋下部工設置状況(白岩川)

森林整備・治山対策

事前放流の実施

白岩川ダム

堤防整備  
河道掘削 等

砂防関係施設の整備

凡例

- 浸水範囲（計画規模1/50）
- 河川
- 流域境
- 市町村境

下条川

石割川

立山町

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等



説明会の様子



県HPに掲載  
7/17日仏での情報発信

堤防整備  
橋梁架替  
河道掘削 等

白岩川

河道掘削 等

八幡川

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村】
  - ・洪水浸水想定区域図の作成【富山県・富山市・上市町・立山町・舟橋村】
  - ・避難訓練への住民参加促進及び住民参加【富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村・住民】
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村】
  - ・水防災教育（出前講座の活用）、マイ・タイムラインの普及及び作成【富山県・富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村・住民】
  - ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・富山市・滑川市・上市町・立山町・舟橋村】
  - ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
  - ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】 等

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等
- ・水位計の活用（準用河川下条川）

富山市

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知
- ・洪水浸水想定区域図の作成
- ・避難訓練への住民参加促進
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水防災教育、マイ・タイムラインの普及 等

- 白岩川水系では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
  - 【短期】水橋大橋の架け替えによりボトルネック部を解消する。  
白岩川ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
  - 【中期】鉄道橋、道路橋の架替によりボトルネック部を解消する。
  - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	白岩川および下条川等の整備(堤防整備、橋梁架替、河道掘削 等)	富山県	→ 道路橋2橋・鉄道橋1橋の架替によりボトルネック部を解消		
	白岩川ダムにおける事前放流の実施	富山県	→		
	砂防関係施設の整備	富山県	→		
	森林整備・治山対策	富山水源林整備事務所 富山県	→		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市 立山町	→ 立地適正化計画の策定し、立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 富山市 滑川市 上市町 立山町 舟橋村 住民	→ 必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県	→		

【事業費(R7年度以降の残事業費)】

- 河川対策  
全体事業費 25.5億円※  
白岩川の整備 等
- 砂防対策  
砂防堰堤 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載



(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	白岩川		

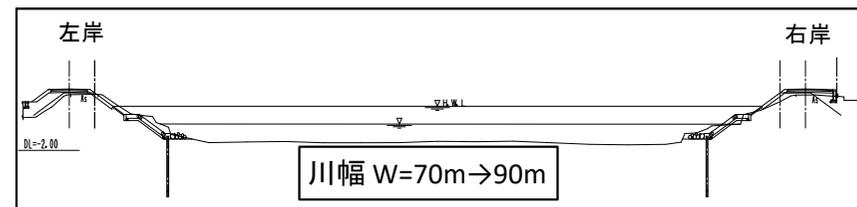
【対策概要】

白岩川は、上市町、立山町の丘陵地から富山湾へ注ぐ二級河川である。昭和44年や平成10年には大きな浸水被害が発生した。昭和45年度から着手した事業によって、平成28年度までに鉄道橋(あいの風とやま鉄道)より上流約4,800mの改修及び河口部から水橋大橋下流までの護岸整備が完了したところである。平成29年度からは水橋大橋の架替を含む区間に着手しており、迂回路仮橋に交通を切り替え、河積を阻害している既設橋の撤去及び新設橋の設置工事を進めている。

【事業内容】

事業期間 : 昭和45年～

内容 : 計画延長6,800m (護岸工、橋梁架替、用地補償)



(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	白岩川		

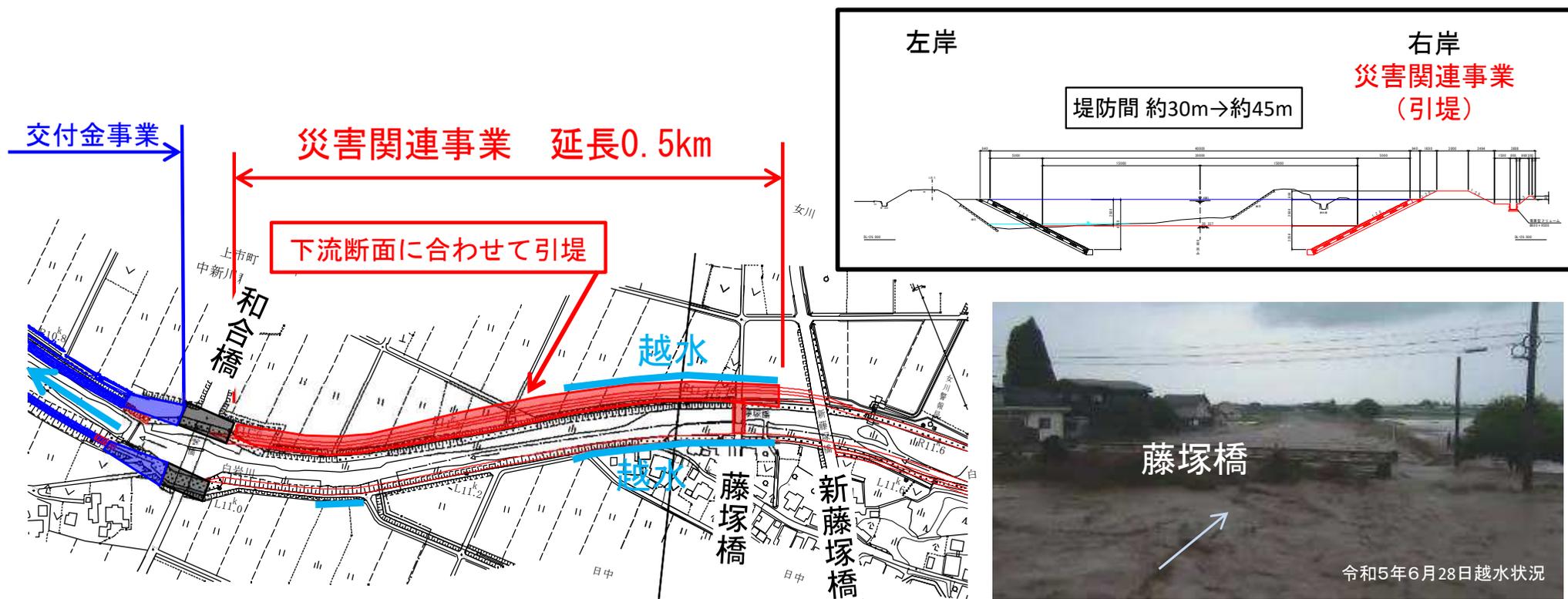
【対策概要】

令和5年6月27日から28日の豪雨により、床下浸水7棟等の被害があった箇所周辺において、再度災害を防止のため、改良済みの下流断面に合わせて河道を拡幅する復旧工事を行う。

【事業内容】

事業期間 : 令和5年度～9年度

内容 : 計画延長 0.5km (築堤工、護岸工等、橋梁撤去)



# 令和5年6月28日の豪雨による災害への取り組み

## 【概要】

県内は、昼頃から夕方にかけて県東部を中心に非常に強い雨が降り、富山市、立山町、上市町に土砂災害警戒情報が出されたほか、上市町では午後4時までの1時間に101ミリの猛烈な雨を観測し、「記録的短時間大雨情報」が発表された。白岩川上流では大規模な出水が発生し、立山町、上市町で多くの災害が発生した。

## 【取り組み】

- ① 白岩川災害復旧事業(立山町白岩地内外) 53件
- ② 白岩川ダム河川災害復旧流木除去事業 約3千m<sup>3</sup>
- ③ 白岩川ダム河川災害復旧堆積土除去事業 約11万m<sup>3</sup>
- ④ 白岩川災害関連事業(上市町女川～立山町日中地区) 延長 0.5km
- ⑤ 白岩川浚渫事業(上市町女川地区外) 3箇所 約4千m<sup>3</sup>



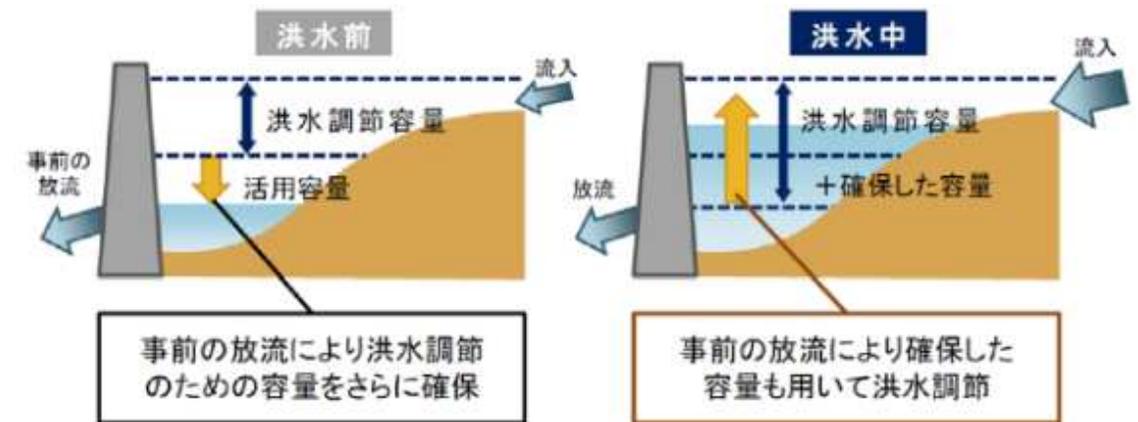
(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	白岩川ダムにおける事前放流(実施)		
事業・施策の名称	白岩川ダムにおける事前放流(実施)		
実施場所	立山町 白岩川ダム		

【対策概要】  
白岩川ダムにおける事前放流等の実施等



緊急時において既存ダムの利水容量を洪水調節に最大限活用し、ダム下流の洪水被害の軽減を図る(及び緊急放流の開始を遅らせる又は回避する)



白岩川ダムは、白岩川水系白岩川の立山町白岩地先に、洪水調節・水道用水の供給、既得取水の安定化及び河川環境の保全を目的とする多目的ダムとして昭和49年に完成しました。

目的	F,N,W	ダム型式	ロックフィルダムと重力式コンクリートダムの複合ダム
集水面積	24.0km <sup>2</sup>	湛水面積	0.19km <sup>2</sup>
ダム高	50.0m	総貯水容量	2,200千m <sup>3</sup>

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	白岩川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

土石流災害を防ぐ

砂防事業



・砂防堰堤 等

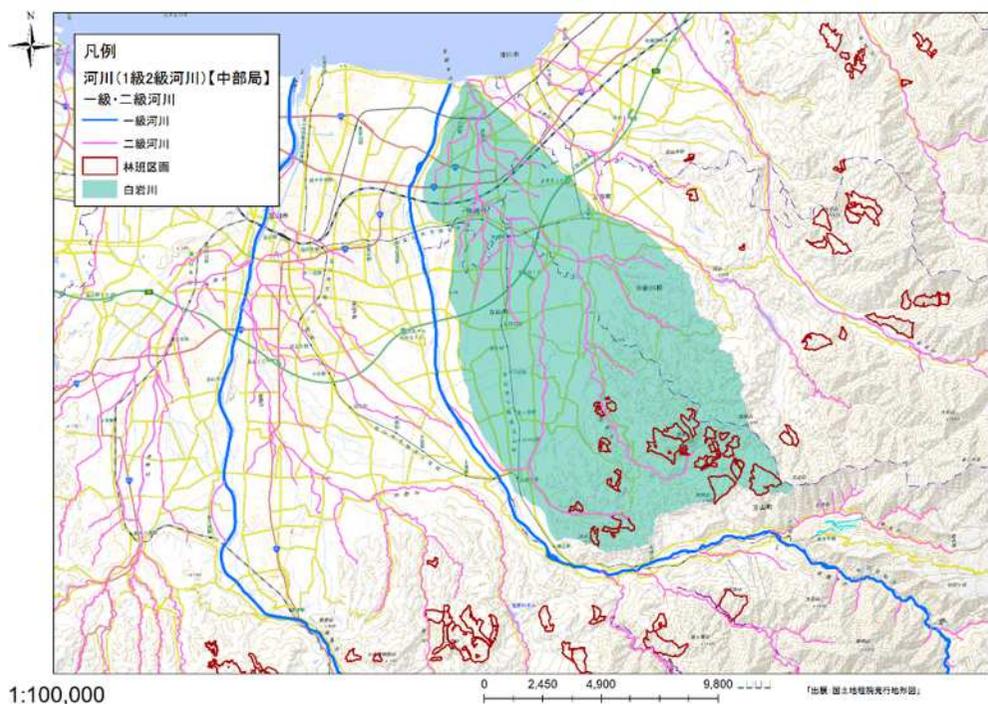


(様式:取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	森林整備(除間伐等)民有林保安林内		
実施場所	白岩川流域		

【対策概要】

- ・除間伐等の森林整備を実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・水源林造成事業地は、白岩川流域に19箇所(森林面積 約500ha)があり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施します。



水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



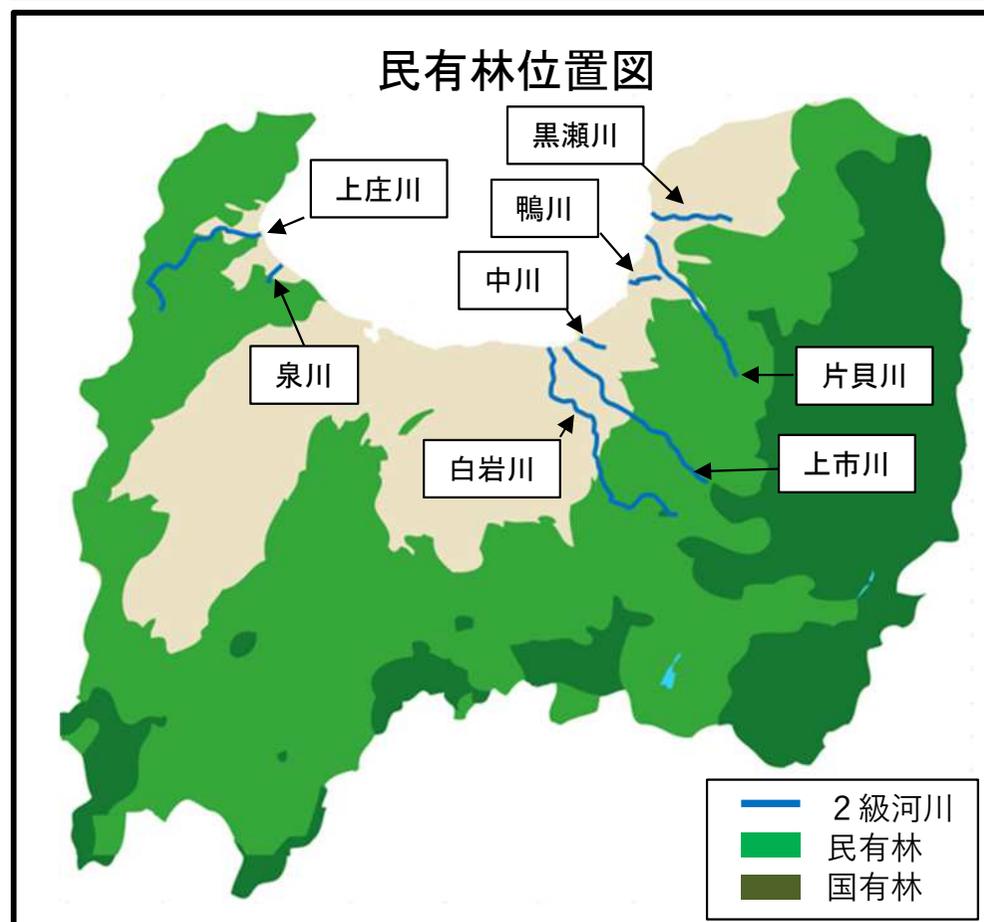
間伐実施後

# (様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	白岩川流域		

## 【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備(間伐等)や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例) 魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例) 南砺市大鋸屋地内



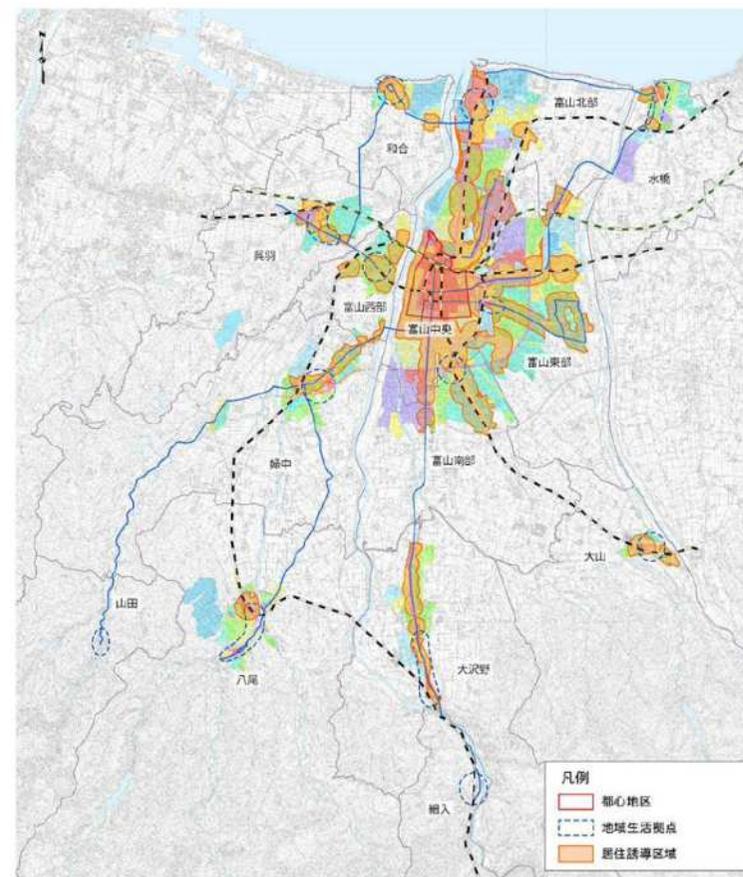
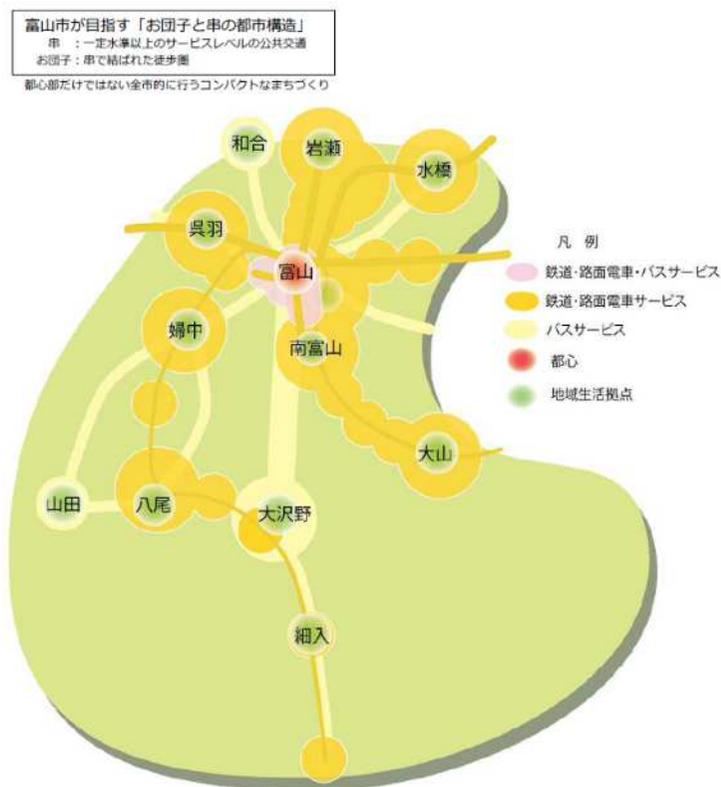
(様式: 取組事例)

区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	富山市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	白岩川流域		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みなどを行う

取組み実績: 令和5年11月 富山市立地適正化計画に防災指針を記載、居住誘導区域を見直し



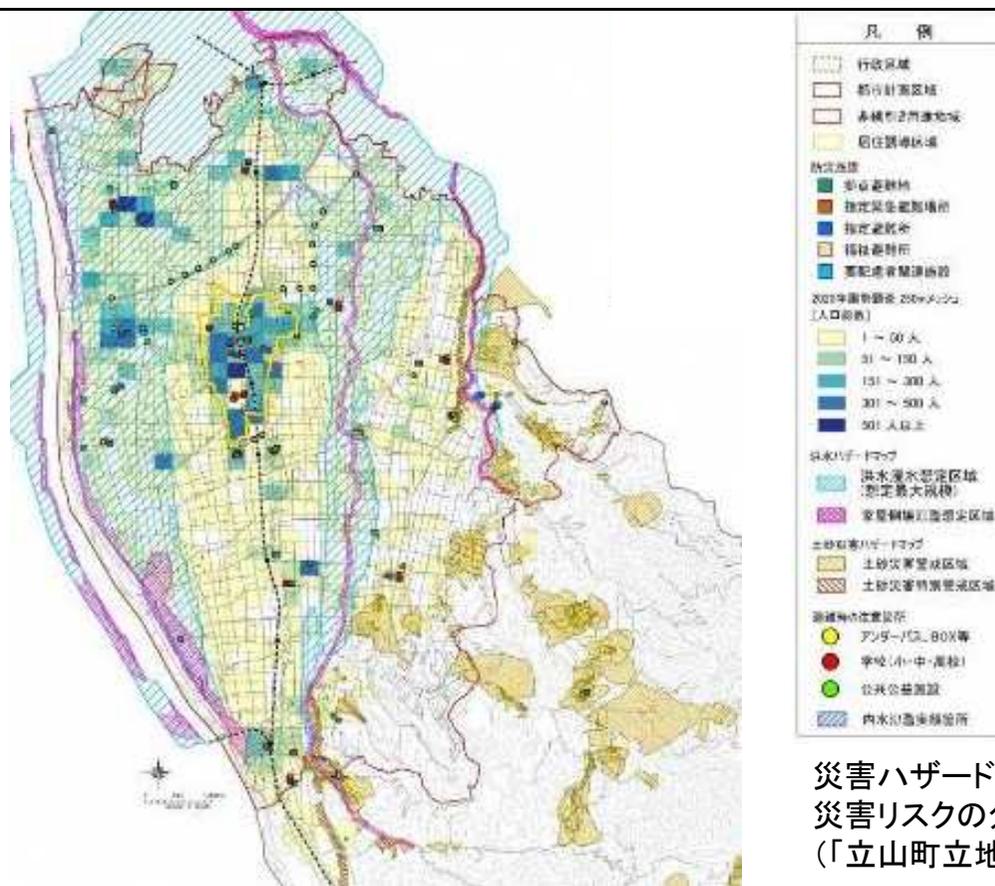
富山市立地適正化計画 より

(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	立山町
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	白岩川流域(栃津川)		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画を策定し、居住誘導区域の設定と防災指針を作成  
 取組み実績:令和7年3月「立山町立地適正化計画」を公表し、居住誘導区域内の開発を呼びかけ。  
 防災指針では、各誘導区域での防災・減災の取り組み方針を示す。  
 令和8年3月～居住誘導区域内における流出抑制施設をもつ住宅地開発の支援を強化。



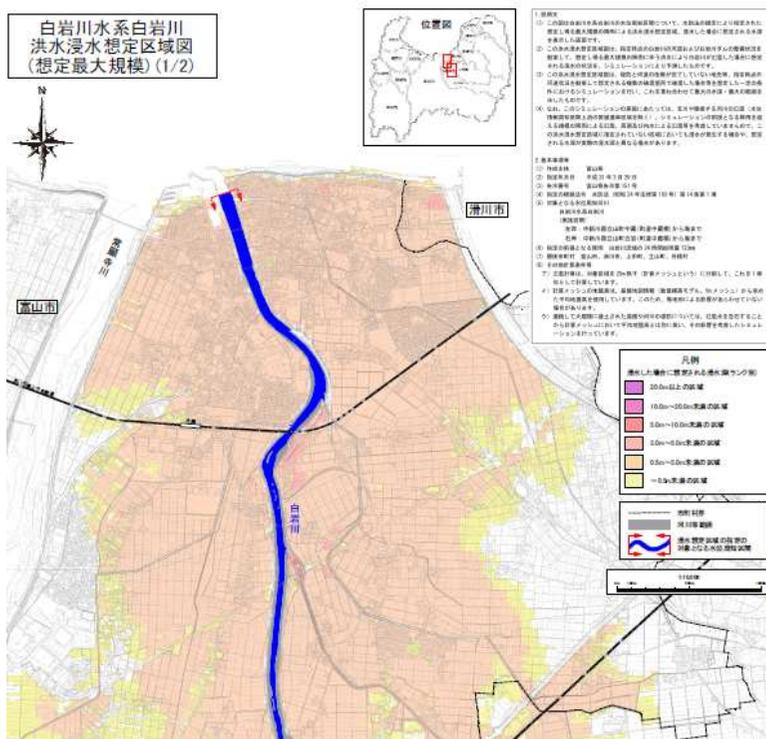
災害ハザード情報と都市の情報の重ね合わせによる  
 災害リスクの分析  
 (「立山町立地適正化計画」より)

# (様式：取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知
実施場所	白岩川流域

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



白岩川浸水想定図(想定最大規模)



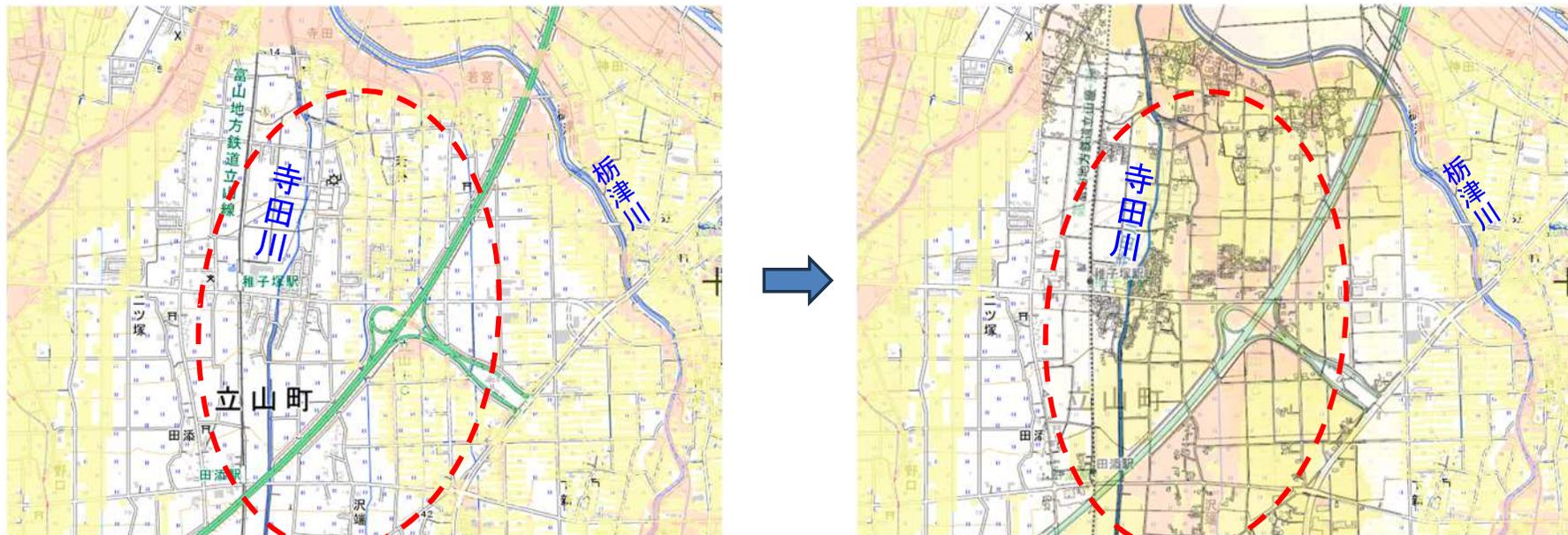
富山市 白岩川 洪水ハザードマップ(想定最大規模)

# (様式：取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、富山市、上市町、立山町、舟橋村
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成
実施場所	白岩川支流の県管理河川

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。白岩川支流の県管理河川について、令和7年度に洪水浸水想定区域図を作成し公表しました。

- 【取組実績】 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施  
令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施  
令和7年度 洪水浸水想定区域図の公表



例：白岩川水系寺田川において、新たに洪水浸水想定区域を指定

# (様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
実施場所	(対象: 市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

## 【取組実績】

- 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- 令和2年度：魚津市にて講習会
- 令和3年度：富山市にて講習会
- 令和4年度：富山市にて講習会
- 県内の要配慮者利用施設1,650施設中1,539施設（93.2%）で計画を作成済み（R7.3.31時点）



講習会の様子 R4 富山市

**標準**

4 節次(体科)

【施設管理者の避難確保の目的】

避難確保の目的	内容	実施内容	達成状況 (達成)
1) 立ち退き避難 (非常時)	立ち退き避難		
2) 避難確保 (非常時)	避難確保		
3) 避難訓練 (非常時)	避難訓練		

達成率 (達成) 4 4 4 4

**標準**

4 節次(体科)

【施設管理者の避難確保の目的】

避難確保の目的	内容	実施内容	達成状況 (達成)
1) 立ち退き避難 (非常時)	立ち退き避難		
2) 避難確保 (非常時)	避難確保		
3) 避難訓練 (非常時)	避難訓練		

達成率 (達成) 4 4 4 4

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村、住民
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)
事業・施策の名称	出前講座の活用
実施場所	県内小学校

【取組概要】

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時において適切な避難行動をとる能力を養う必要があることから、学校における防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子ども達に正確な理解を進める。

【取組実績】 令和7年9月16日 富山市立水橋西部小学校  
令和7年11月13日 氷見市立比美乃江小学校



スライドで説明している様子



富山県の地図をみて県内の河川について説明している様子



水橋大橋の架け替え工事について説明している様子



ドローンで撮影している水橋大橋の映像を見学している様子

【5年生】疑問解決！上庄川の治水

☎2025年11月13日 ☎5年生の教室から

11月13日(木)に、富山県庁の河川課、氷見土木事務所の職員の方々をゲストティーチャーとして招き、上庄川の治水について授業を行いました。

子供たちが、上庄川の治水について調べていく中で生まれた疑問に答えていただいたり、富山県や氷見市が行っている治水工事について教えていただいたりしました。

上庄川を管理し、洪水が起きないように日々、取り組んでいる方々の話を聞き、これからの調べ学習に役立てようとする思いや、自分たちほどのようなことができるのか、必要なかについて考えることができました。

小学校HP



説明資料

## (様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村、住民
メニュー名	水防災教育(出前講座の活用)
事業・施策の名称	出前講座の活用
実施場所	主に市内小中学校・生徒

### 【対策概要】

自然災害から命を守るためには、一人ひとりが災害時において適切な避難行動を行える能力を養う必要があることから学校等での防災教育の充実を図り、特に「命を守る」という観点に留意し、子供たちに防災についての理解を深めてもらう。

- ・実施日(抜粋) : 令和7年 7月 7日(月) 富山国際大学  
令和7年 9月10日(水) 富山市立水橋西部小学校  
令和7年 9月16日(火) 富山市立光陽小学校



(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、県管理河川等の監視カメラ画像や水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R5.3月危機管理型水位計を追加、R6.6月ダムの貯水位等を追加、R7.6月ダムの監視カメラ画像を追加(7ダム)】
- ・ 公開の内容:河川・海岸・ダムの監視カメラ画像、河川・ダムの水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>

河川・海岸・ダムの監視カメラ画像

ダムの貯水位等を追加 (R6.6)  
ダムの監視カメラ画像を追加 (R7.6)

河川・ダムの水位情報



富山県河川海岸カメラ・水位情報

地域別河川・ダム状況表

河川名	観測所名	現況水位	水防団 待機水位	氾濫注意 水位	避難判断 水位	冠氾濫 水位
新川土木 (魚津市、滑川市)						
新川	新川	0.54m	→ 0.70 m	1.00m	1.00m	1.20m
片貝川	栗城橋	0.33m	→ 1.00 m	1.50m	2.30m	2.50m
早月川	月形橋	0.04m	↑ 1.90 m	2.50m	3.90m	4.90m
中川	中川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	0.90m
深田川	深田川	0.21m	→ 0.50 m	0.70m	0.70m	1.00m
角川	住吉	0m	→ 1.10 m	1.40m	1.80m	2.10m
布部川	同西	0.17m	→ 0.70 m	1.00m	1.30m	1.80m
布部川	坂野	0.21m	→ 0.80 m	1.50m	2.30m	2.80m
片貝川	密合橋	0.89m	→ 1.00 m	1.90m	2.40m	2.70m
入善土木 (朝日町、入善町、黑部市)						
黒瀬川	新田橋					1.80m
木流川	木流橋					2.10m
舟川	笠橋					1.60m

国土交通省「川の防災情報」へリンク

(様式: 取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダムの貯水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】 ・ 配信開始日: 令和6年6月～

・ 配信の内容: 受け取りたい河川の水位(46観測所)や、ダムの貯水位(16ダム)が、各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

# かわ とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し水位の基準値を超えると



自動的にメールを配信



登録ユーザー



自動的にメールを配信



事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録(○観測所の○水位)

ダムの貯水位が上昇し、基準値を超えると

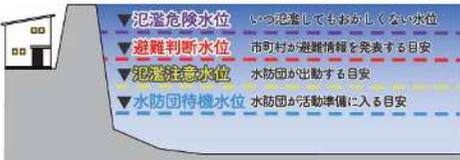
## 配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氾濫危険水位 (レベル4)</li> <li>・ 避難判断水位 (レベル3)</li> <li>・ 氾濫注意水位 (レベル2)</li> <li>・ 水防団待機水位 (レベル1)</li> </ul>
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100%の貯水位</li> <li>・ 80%の貯水位</li> <li>・ 50%の貯水位</li> </ul>

[参考] 各基準値の内容

河川水位



ダム貯水位





【避難判断水位到達】和田川本江  
以下のお知らせで避難判断水位に達しました。

水系名: 庄川  
河川名: 和田川  
観測所名: 本江  
レベル: Lv3 避難判断水位  
観測値: 3.70m  
基準値: 氾濫危険水位 4.30m  
避難判断水位 3.70m  
氾濫注意水位 3.50m  
水防団待機水位 3.00m

登録はこちら ▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

# (様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、富山市、住民
メニュー名	流域治水ワークショップへの参加		
事業・施策の名称	流域治水ワークショップへの参加		
実施場所	ユウタウン総曲輪 ウェストプラザ(富山市)		

## 【取組概要】

「流域治水」という概念・取組を普及啓発するとともに、地域住民の幅広い年代の方々が、水災害に対するリスクや河川に対する興味・関心を持ってもらうきっかけとなるよう、自治体や研究機関（大学）と連携した流域治水ワークショップに参加している。

## ■水とくらしは、どうつながってる？みんなの流域じまん

- 開催日：令和7年7月26日(土)
- 場所：ユウタウン総曲輪ウェストプラザ(富山市)
- 主催：一般社団法人流域ふらっとフォーム
- 共催：富山市、富山県立大学
- 後援：富山県、富山河川国道事務所、富山市教育委員会、中部地方環境事務所
- 協力：東京大学、中央大学、福島大学、宮崎大学 他
- 内容：ポスター展示、ブース出展、グラフィックレコーディング、流域治水に関する漫談・コンテスト



富山県出展ブース状況



流域漫談  
グラフィックレコーディング



## (様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、立山町、上市町、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	異常洪水時防災操作を想定した防災訓練の実施		
実施場所	白岩川流域内の町と住民		

令和5年度に緊急放流を実施した白岩川ダムの下流地域において、緊急放流を想定した防災訓練を実施

○白岩川ダム（令和7年6月14日、日中）

### 【取組概要】

（県）サイレン吹鳴やアナウンス放送、市町への情報伝達、ダムからの情報に関する説明

（町）住民に対する避難指示発令、SNSを活用した情報発信、防災に関する啓発

（地元）住民の避難所への移動、消防団による呼びかけ巡回

消防団による避難の呼びかけ



避難所へ向かう住民



ダムからの情報に関する説明

